

米国議会にて第一四半期に議論された主な内容

➤ 米国議会では2019年第一四半期(1月-3月)に協議された主な内容を以下チャートにて記載。

カテゴリー	主な議論内容	注目点	今後の動向
米国議会全般	<ul style="list-style-type: none"> • 昨年の中間選挙結果を反映した新たな米国議会がスタート。民主党が下院の過半数を、共和党が上院の過半数を占める。 	<ul style="list-style-type: none"> • ヘルスケア、リタイアメント、給与が主な議論項目となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 引き続き議論が行われる。特にオバマケア(ACA)、処方箋薬剤、施術後の高額医療費請求などの議題について協議・投票が行われる見込。
リタイアメント関連	<ul style="list-style-type: none"> • リタイアメント制度の緩和・拡大に関する活発な議論が進行中。 	<ul style="list-style-type: none"> • 下院に設置された委員会で法案(Retirement Security Bill)が可決。 • 上院にて公聴会が今後開催される見込。 	<ul style="list-style-type: none"> • 継続して議論が行われる見込。 • 下院にて法律通過の投票が行われる見込。
ヘルスケア関連	<ul style="list-style-type: none"> • 現議会では、ヘルスケアが一番の注目。 • 両党派にて、「処方箋薬剤価格」と「医療サービスを受けた後に受取る高額医療請求」が議論されている。 • オバマケアに対して行われた訴訟の影響から、同法の既往症ルール(既往症患者を保険として拒否してはならない)が再び注目を集めている。 • キャデラック税制度(オバマケア)廃止法案が提出へ。 	<ul style="list-style-type: none"> • 高騰する処方箋薬剤について、両党派で活発に議論されている。 • 法案の幾つかは、委員会内で議論される見込。 • 「医療サービスを受けた後に受取る高額医療請求」については、両党派で大きな議論となっている。トランプ大統領は、上院両党派に対して、法案可決に向けて速やかに動くよう要請。 • オバマケアの一部内容(短期限定プランや州免責など)を廃止する案が、下院の委員会で可決。 	<ul style="list-style-type: none"> • 継続して議論が行われる見込。 • 上下両院にて、処方箋薬剤とその他項目に対する公聴会が開催される見込。 • 下院は、オバマケアの議論に集中したい意向。
給与関連	<ul style="list-style-type: none"> • 連邦最低賃金の改善と賃金の性別格差是正が注目を集める。 	<ul style="list-style-type: none"> • 下院にて性別格差を是正する「給与公正法(Paycheck Fairness Act)」が可決。 • 下院内設置の委員会にて連邦最低賃金を時給\$15とする法案が可決。 	<ul style="list-style-type: none"> • 「給与公正法(Paycheck Fairness Act)」は上院へと議論の場が移動。 • 下院にて連邦最低賃金に対する法案投票行為が行われる見込。

出典: Legislative Review and Outlook: January – March 2019, April 8, 2019 by Willis Towers Watson